

令和3年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
—	—	河野 訓	学長・教授	宗教学・仏教学	(1)漢訳仏典と儒仏道三教交渉史の研究 (2)20世紀中後半における中国仏教寺院の変貌の研究 (3)宗教都市伊勢における神仏分離の研究 (4)明治維新の神仏分離の全国展開に関する研究 (5)神道と仏教以外の世界の諸宗教に関する研究
文学部	神道学科	板井 正斉	教授	宗教社会学、宗教民俗学、神道福祉論、GIS研究	①地域神社に関する地理空間(GIS)分析 ②神社を参拝する人々の情報発信に関する複合的研究 ③宗教施設を地域資源とした地域防災のアクションリサーチ ④GISを活用した歴史資料の分野横断型研究に関する基礎的研究
		加茂 正典	特命教授	神道史、日本文化史	前近代における国家と祭祀の史的研究 ① 鈴木重胤関係資料の蒐集と研究。 ② 吉田神社社家鈴鹿家文書の研究。 ③ 伊勢神宮祭祀と朝廷祭祀の史的研究
		中山 郁	教授	宗教学	① 山岳宗教・修験道における宗教的修行の研究 ② 海外戦没者慰霊の研究
		松本 丘	教授	神道学(特に神道史・神道思想史)	1、垂加神道を中心とする江戸時代神道史の研究 2、崎門における神道・儒学思想の研究
		岩城 隆宏	特命准教授	装束に関して	現行の装束規定について検証する
		板東 洋介	准教授	日本思想史、神道思想史	近代日本における前近代思想の再解釈の特性についての研究
		高野 裕基	助教	近代神道史	井上哲次郎の教育勅語解釈に関する研究
	国文学科	大島 信生	教授	上代国語国文学	1、万葉集の訓註注釈的研究 2、日本書紀の研究
		上小倉 一志	教授	書道	・魏「范式碑」の研究(継続中) ・隸書から楷書への過渡期の文字変遷とその表現法に関する研究(継続中) ・韓天寿『岡寺版集帖』に関する調査・研究(継続中) ・硯と墨色の研究(継続中)
		齋藤 平	教授	日本語学 社会言語学	① 津波記念碑の社会言語学的研究 ② 三重県方言の研究 ③ 近似字形の研究
		田中 康二	教授	日本近世文学・国学	江戸時代中期に発祥した「国学」について、古代・中世にルーツを持つ「歌学」からの連続性と断絶という観点と、近代以降現代に及ぶ国文学研究、さらには古典教育への断続性という観点の二つの視座から、国学者の残した業績を見直す作業を行う。また、それらを通時的に貫通する「日本古典学」を構想することを目標とする。
		深津 睦夫	特別教授	和歌文学	勅撰和歌集・神祇部の研究
		松下 道信	教授	中国宗教思想	・道教(北宋～元までの全真教・内丹道について) ・神道と中国思想、特に道教思想とのかかわりについて
		岡野 裕行	准教授	書物文化の研究、読書とコミュニケーションの研究	①公共図書館や教育機関におけるビブリオバトルの導入状況の研究 ②ウィキペディアタウンと文学散歩の研究 ③文学フリマと読書文化・読書環境の研究

令和3年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
文学部	国文学科	千邑 淳子	特命准教授	マイクロライブラリー、公共図書館と地域	①マイクロライブラリーの可能性 ②公共図書館における地域との連携と地域活性化
		吉井 祥	助教	中古文学 和歌文学	A平安時代における和歌の役割 B齋王・祭主による詠歌
	国史学科	遠藤 慶太	教授	日本古代史	①倭王権が中心基盤であった畿内から東西に拡大する段階に焦点をしぼり、特にヤマトタケル伝承にあらわれる東国の交通拠点について検討を行う。②九世紀に在位した仁明天皇の個人史を主題として、平安前期の宮廷社会や文化の様相を評伝としてまとめる。
		岡野 友彦	教授	日本中世史	① 中世公家社会と公家領荘園に関する研究 ② 北畠親房と伊勢国司北畠氏に関する研究 ③ 中世の伊勢神宮と神道・神社に関する研究 ④ 源氏長者に関する研究 ⑤ 古文書の料紙に関する研究
		川口 雅昭	特命教授	教育学	吉田松陰における幽囚室・松下村塾教育の研究
		多田 實道	教授	日本中世史	神宮と仏教の関係についての研究
		松浦 光修	教授	日本思想史研究	近世、幕末維新期の思想史研究
		谷口 裕信	准教授	日本近代史・地方行政史	①近代日本における郡の地域的形成と展開について ②御師廃絶後の旧御師の活動について
		堀内 淳一	准教授	東アジア古代外交史・コンテンツ文化史	(1) 古代における日本・朝鮮・中国を中心とした外交関係 (2) 中国古代における時代認識、特に「漢」概念の成立 (3) 日本における中国イメージ形成の展開について
		谷戸 佑紀	助教	日本近世史	① 近世国家における伊勢神宮の位置づけに関する研究 ② 近世の神社に関する研究 ③ 近世社会の統治システムに関する研究
		長谷川 怜	助教	日本近現代史 満洲経営 戦争と宗教 満蒙開拓団の戦後 図画像史料研究	① 日本の満洲進出と国内向けプロパガンダの研究 ② 戦時期における宗教(特に仏教)と戦争との関係性に関する分析 ③ 満蒙開拓団引揚げ後の国内での生活再建について福祉史的観点から踏まえ、三重県内で再開拓を行った天理教開拓団を事例として分析 ④ 旧華族家の生活史をオーラルヒストリーと文字史料を組み合わせる分析 ⑤ 古写真・絵葉書・音源など図画像史料の歴史学への活用 ⑥ GISを活用した分野横断型研究プラットフォーム構築にむけた基礎的研究
		コミュニケーション学科	張 磊	教授	日本語教育・e-Learning
	豊住 誠		教授	英語教育学	英語教育の理論および実践にかかわる研究
	芳賀 康朗		教授	心理学	大学生の共感体験に関する心理学的研究
	クリストファー・ロイヤー		教授	日本中世史	(1) 日本中世における集会的(集团的)記憶形成に関する研究 (2) 中世文学と歴史の接点に関する研究

令和3年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
文学部	コミュニケーション学科	川村 一代	准教授	英語教育	テーマ:小・中学校における「話すこと[やり取り]」の指導と評価 小・中学校における「話すこと[やり取り]」の評価には、「指導者による面接型テスト」と「学習者同士の対話型テスト」では、①引き出される発話はどう異なるのか、②評価が同じになるのか否かを明らかにし、各学校段階で「やり取り」の評価によりふさわしいテスト形式を提案する。
		桐村 喬	准教授	人文地理学・地理情報科学	都市に関する総合的な時空間GISデータベースの構築と分析手法の開発
		栗野 理恵子	准教授	音楽療法、心の健康づくり	①フォーカシング指向音楽聴取 がもたらす心理・生理的反応と体験過程尺度および内受容感覚の関連 ②音声によるフォーカシング教示の提供がもたらす個人セッション実践効果の検討
		高沢 佳司	准教授	心理学	身体感覚へと能動的に注意を集中することで、既に経験した嫌な出来事に関する記憶に対する認知的再評価(i.e., 苦痛な体験への認識が肯定的に変化)を惹起させるフォーカシング法の情報処理過程を明らかにする。
		中山 真	准教授	心理学	理不尽な状況に対する捉え方の個人差についての研究
		玉田 貴裕	助教	英語学	非選択目的語を含む結果構文の出現と発達に関する調査と分析
教育学部	教育学科	大杉 成喜	教授	特別支援教育・教育工学	・障害のある児童生徒の教材開発・実践研究 令和3年度～5年度科学研究補助金(申請中:研究代表:大杉成喜)「視線入力を活用した重度身体障害児者の遠隔eSports参加による自己肯定感の向上」 ・小さい子ども・知的障害のある子どものプログラミング教育に関する研究 ・三重県の地域の課題に応じた特別支援教育にかかる実践的研究
		加藤 純一	教授	体育科教育学 武道思想史	○体育・保健体育の模擬授業の在り方について ○『兵法家伝書』における「敬」について ○韓国剣道の技術用語について
		叶 俊文	教授	体育心理学	体育における動機づけについて
		駒田 聡子	教授	食育・小児保健・地域連携	学校・保育所・幼稚園における食育の推進 食物アレルギー児支援の視点 保健衛生の実際 地域連携推進のための援助方法の検討
		杉野 裕子	教授	算数教育・数学教育	・算数・数学におけるコンピュータプログラミング活用 ・数概念育成のための算数教具および幼児玩具の開発とその活用方法 ・算数の授業における情報処理
		勢力 稔	特命教授	教師教育学、学校経営、教育マネジメント、理科教育	「主体的・対話的で深い学び」に関する学習評価に関する研究
		中條 敦仁	教授	国語教育学 言語教育学 ICT教育	国語教育:国語科の物語・小説教材の内容の可視化と帰納的推論力の育成に関する研究 言語教育:絵本の読み聞かせ実践と絵本言語の分析 ICT教育:教育におけるデジタル紙芝居の有効性に関する研究
		中松 豊	教授	応用昆虫学 理科教育学 生活科教育学 環境教育学	・昆虫の生体防御機構の解明 ・保育園から高等学校理科の生物基礎における昆虫を使った教材開発
		吉田 直樹	教授	環境心理学・臨床心理学 発達心理学	心理相談施設におけるスピーチプライバシーの保護に関する研究

令和3年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
教育学部	教育学科	渡邊 賢二	教授	教育心理学, 家族心理学	児童期から青年期の親子関係, 親子間葛藤, 子育て支援 小中学生と教師の支援
		渡邊 毅	教授	道德教育	道德教育の教育的効果に関する研究 道德教育と生徒指導の接続に関する研究 授業、地域活動、クラブ活動などの結合による道德的価値の体得の研究
		秋元 雅仁	准教授	発達障害教育学・インクルーシブ教育学	どの子ども安心して、他の級友らと共に同じ内容を学ぶことのできる学校や学級を目指して、「あればできる」教材や教具の活用を促すとともに、誰をも対象としたユニバーサルデザインをめざした授業改善に資する方策等を検討する。
		市田 敏之	准教授	教育行政学	アメリカにおける科学技術人材育成政策に関する研究 我が国における市町村教育財政に関する研究
		井上 兼一	准教授	教育史学	1930～40年代における学制改革の再検討 戦後三重県における教育委員会の施策と活動に関する基礎的研究 近代の災害援助支援と政府・皇室・宗教の役割に関する実証的研究
		梶 美保	准教授	小児保健、幼児教育・保育、子育て支援	① 三重県下の子育て支援拠点施設における質の向上と多機能化に関する研究 ② 幼児教育・保育のリスクマネジメント ③ コロナ禍におけるICTの活用
		片山 靖富	准教授	応用健康科学	・身体活動の増加ならびに運動の習慣化を促す研究(運動プログラムの開発) ・大学生体力と学力との関係/大学体育授業の教育効果 ・幼保教員の身体活動量および園の体育・スポーツに対する関心の高さと園児の身体活動量との関係
		佐藤 武尊	准教授	自然科学(柔道)	(1) 国際柔道選手競技分析研究 (2) 柔道授業におけるIT機器活用に関する研究 (3) 柔道初心者における頭部外傷に関する調査 (4) 大学柔道選手における健康状態に関する研究
		高橋 摩衣子	准教授	音楽教育	●学校音楽教育/幼児音楽教育の現状および時代に即した教員/保育者養成に関する研究。 ●教員・保育者養成課程における学生ミュージカル創作実践。
		土谷 長子	准教授	幼児教育・保育学	乳幼児の発達とそれにふさわしい保育環境・指導のあり方
		野々垣 明子	准教授	教育哲学、社会教育	①教員養成における「省察」に関する研究 大学1年生を対象とする「教育の基礎理論に関する科目」(本学では「教育学概論」「教職論」)において、学生が自らの教育観や教師観を「省察」する必要性および可能性、課題を検討する。 ②戦後三重県の社会教育施策における民主主義普及活動の研究 昭和20年代、三重県教育委員会により展開された民主主義の理念と技術を普及するための講習に注目し、その講習が県内の市町村にどのように受け入れられ、地域独自の活動としてどのように発展していったのかを明らかにする。
		山本 智子	准教授	障害児教育学(指導法) 教育カウンセリング 学校心理学	・特別支援学校における授業改善 ・学校心理学や教育カウンセリングに基づく発達支援
		吉田 明弘	准教授	児童福祉・保育	・児童養護施設や少年院退所(退院)者の就労支援 ・社会的養護(里親政策)の動向
		上野 祐一	助教	解析学、算数・数学教育学	【解析学】Painleve (パニルヴェ)方程式や Garnier 系の量子論への応用や古典論との関係性について 【算数・数学教育学】高等学校数学科における評価のあり方について

令和3年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
教育学部	教育学科	澤 友美	助教	理科教育学、環境教育学、昆虫生理学	大学生による昆虫を用いた出前講座の実践及び現場教員との共同実践。保育所・幼稚園、小学校生活科、理科、中学校理科における新たな教材の開発。高等学校生物基礎の食作用の実験における、異物の検討。
		萩原 浩司	助教	社会科教育におけるエネルギー環境学習の歴史的分野	・エネルギー環境問題が日本において歴史的にどのように生じたのかを考える小学校歴史学習の授業開発。 ・持続可能な社会に向けた生活のあり方を考える小学校生活科の授業開発。
		吉本 隆哉	助教	スポーツ科学	レジステッドおよびアシステッドがスプリントパフォーマンスに与える影響
現代日本社会学部	現代日本社会学科	鶴沼 憲晴	教授	社会福祉法制度 成年後見制度	成年後見制度における意思決定支援
		笠原 正嗣	教授	「交通空白地」における高齢ドライバー運転の継続支援策	公共交通の衰退が著しい地方都市には「交通空白地」が多数存在する。高齢者等の移動困難者に対する交通環境確保が喫緊の課題となっている。特にコロナ禍において、自家用車(クルマ)が注目される中で、高齢ドライバーの運転継続は移動保障の観点から重要な政策課題だと考える。安全運転教育やリハビリ等の医療的支援に加えて、自動運転の技術革新による「クルマの社会化」を分析することで、これからの交通政策のあり方について考える。
		岸川 政之	特命教授	SB(ソーシャルビジネス)について	地域の課題などをビジネスの手法で解決していくSBをテーマに、皇學館大学をメイン会場に開催される「全国高校生SBP交流フェア」において、全国の高校生や関係団体の取組みを研究し、地域課題の解決方法のヒントを探る。また、学んだSBの手法をどうすれば地域課題の解決に結び付けられるかについて伊勢志摩地域を舞台に考える。この取り組みは、社会臨床実習の受講生および有志(皇學館大学SBPなど)を中心に進めている。
		関根 薫	教授	老年社会学	①老人クラブの「支え合い活動」に関する研究 ②社会福祉協議会における法人後見についての研究
		千田 良仁	特命教授	農林水産業経済学、開発経済学、地域活性化論、地域イノベーション論	・農林水産業経済学、経営学視点からの実証的、計量経済学的研究 ・地域の活性化および地域イノベーションに関する実証的研究 ・地域食文化研究
		筒井 琢磨	教授	地域社会学	地域社会における市民参加の現状と課題に関する研究(継続)
		富永 健	教授	憲法	①国体法の研究 国体と憲法との関係、特に現行憲法成立による国体の変革に関する研究 ②政教関係の研究 現行憲法および明治憲法下の政教関係問題の考察 ③憲法改正論の研究
		新田 均	教授	近代日本の政教関係	これまでの自らの研究史のまとめを継続する。
		橋本 雅之	教授	上代文学・神話学	古風土記の注釈 常陸国風土記と水戸学
		岩崎 正彌	准教授	日本の伝統文化の教育の再構築	日本の伝統文化 ～ その探求と継承、未来への創造と応用～ 基礎:我が国の伝統文化の詳細と本質を学び、その精神的な根源を探求する。 応用:我が国の伝統文化の継承と発展のため、伝統文化教育の内容を構築する。 展開:我が国の伝統文化の未来への創造のため、具体的な方法論を開発し、実践する。
		瓜田 理子	特命准教授	民族音楽学	科研「大礼と神宮式年遷宮からみる神楽秘曲の基礎的研究」
榎本 悠孝	准教授	障害者福祉分野	精神障害者を対象としたグループホーム入居者の退所意向に影響を及ぼす要因		

令和3年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
現代日本社会学部	現代日本社会学科	大井 智香子	准教授	社会福祉	人口流動化する産業衰退地域の再生と生活困難者の地域就労を結ぶ支援モデルの開発 本研究は、地場産業の衰退とそれらを支えてきた不安定就業層の高齢化・生活困窮化の同時発生という課題に対し、人口流動化時代に対応する生活困難者の福祉的支援と衰退産業の地域再生を結ぶダブル・チャレンジを可能とする生活支援モデルの開発を目的とする。
		中野 一茂	准教授	社会福祉	ミリタリーソーシャルワークの日本での援用について。 満蒙開拓団の戦後—天理村開拓団の生活再建と社会保障
		藤井 恭子	准教授	地域社会学・教育社会学・社会調査法	①大学生の幸福感を生み出す諸要因の検証 ②若者によるソーシャルビジネスに関する研究
		村上 政俊	准教授	国際政治、米中関係、日本の外交安全保障、インド太平洋	本年1月のバイデン政権発足後も米国の対中強硬姿勢が維持される中で、今後の米中関係の推移が焦点であり、防衛力強化を含む我が国が外交安全保障の在り方がテーマとなる。併せて深まりをみせるインド太平洋地域における同志国との連携について、日米豪印クワッド協力を含めて詳細に検討する。
		尾崎 剛志	助教	社会福祉学(障害者福祉)	①精神病患者のリワークに関する研究 ②障害者雇用と就労支援 ③スクールソーシャルワークに関する基礎的研究 ④神社と社会福祉(保育)事業
オシアフヨドインミックス		田浦 雅徳	特命教授	日本近代政治外交史	外交官研究(重光葵と松岡洋右) 皇學館の歴史に関する研究
教育開発センター		中村 哲夫	特命教授	体育・スポーツ史	1. 第二次世界大戦期をはさんだIOCのオリンピック運動に関する研究 2. 日比野寛の学校経営と運動部活動の検討
		池山 敦	特命准教授	コミュニティ政策	東日本大震災における津波被災地における地域自治会の再建
		濱畑 静香	准教授	日本語学、日本語教育	・日本語学習者の口頭運用能力向上に関する研究 ・EPA(経済連携協定)による外国人看護師候補者の日本語運用に関する研究
研究開発推進センター		荊木 美行	教授	日本古代史	記紀・風土記・『新撰姓氏録』を中心とした日本古代史の研究。
		佐野 真人	准教授	日本古代史・神道史	日本古代における朝廷祭祀・儀礼の研究
		浦野 綾子	助教	近世文学	長野義言および国学者の研究
		小林 郁	助教	日本中世史・神道史	中世～近代における神宮御師の「家」と伊勢信仰に関する研究
		塩川 哲朗	助教	皇室祭祀・神宮祭祀	古代の宮中祭祀と神宮祭祀の構造 古代朝廷で齎行されてきた大嘗祭・新嘗祭をはじめとする天皇祭祀・朝廷祭祀の構造と、伊勢神宮の祭祀構造を比較検討しながら、それぞれの特徴及び本義を明らかにすることを目的とする。既存の研究・思想に捉われない、資史料に基づいた祭祀理解を目指す。